

## がん専門医に聞く

富山労災病院 (アスベスト疾患センター長)

みずはし けいいち  
水橋 啓一



### 「ワシは胸張って生きて行きたいんやー」

標題は、私がスタッフと一緒に担当しているとある専門外来(\*)を受診された80代前半の男性のお言葉です。以下はお言葉の続きです。「ワシは学生の頃は級長しとった。仕事しとったときは長い間だいたい各々の事業所のトップやった。仕事辞めてからも、いろんな集まりに参加しとるが、そこでも長をずっとやとる。いつも人の先頭に立ってみんなを引っばってきた。ワシは人生これまで胸張って生きてきたんや。他人様から後ろ指を指されるようなことは一度たりともしたこたー無いンヤ。しかし、何や最近のシャバは。一服吸うにも、

なんか裏に隠れて、またはでかい金魚鉢の中みたいなところに閉じ込められて、コソコソと吸わんならん。何もワルイ事しとらんのに、マンデ悪者扱いや。こんなんは、ワシの生き方に反する。我慢が出来ん。それで、ワシは吸うのを辞めることにしたんや。」ということでした。おそらく、私のその外来では最高齢の方だったと思います。3ヶ月その外来に通院され、見事に目的を達成し、先日1年後の状況お伺いのお電話を差し上げましたところ、その後も全く異常無しということでした。本当にご立派な方で感激いたしました。それで、「私どもスタッフも、あまりにりっぱで感心いたしましたので、貴方のことを書き物にして良いですか?」とお尋ねし、快諾を得たため、ここで御紹介させていただきました。

### \*\*タバコはなぜ止めるのが難しいか\*\*

普通はタバコをやめるのは難しいです。その原因として、身体依存と精神依存の二つがあると言われています。身体依存の中見はニコチン依存で、体が、体内にニコチン(ニコチンは元々体内には無い物質です)が有る状態に慣れっこになってしまうので、タバコを吸い終わってしばらく時間が経つと、体内のニコチンの量が減って、禁断症状が出るため、また吸いたくなるわけです。ここでは精神依存の方のお話を少し詳しくします。煙草を吸う人は、時々、「タバコなんてそんなに体に悪いわけがない」「タバコは癌にあまり関係ない」「たばこを吸うだけで不健康なんてとんでもない」等と言います。本心はタバコの害については十分に分かっていても、タバコをやめれない、やめろと言われるのが怖い等々の理由で、自分にとって都合が悪いことを(一種の自己防衛なのですが)、真っ向から否定しようと(周囲には滑稽くらい)必死になるわけです。これを、否認といいます。社会的にも偉い方々でも、一つタバコのことになる、「エッ、ホントにそう思っているの?」と考えたくなるような、周囲からは、まったく理解できない言動をされる場合があるのも、この現象です。次回に続く。

\* 当院では、禁煙外来(完全予約制)を開いています。ご予約をはじめ、禁煙に関するご相談、お問い合わせは、平日の午後に、富山労災病院(代表22-1280)の内科外来までお願い申し上げます。

ご質問やご相談は地域医療連携室まで、また富山労災病院ホームページもご覧ください。

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構  
富山労災病院 地域医療連携室  
〒937-0042 魚津市六郎丸992

Tel: 0765-22-1345

Fax: 0120-935-631(フリーダイヤル)

### 富山労災病院 救急外来からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。

受診される場合22-1280までお電話下さい。